



2003年05月19日

フォルクスワーゲン ルポ GTI カップ ジャパン2003第1戦 (筑波) リザルト

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社 (代表取締役社長: 梅野 勉) がサポートする、JAF (日本自動車連盟) 公認ナンバー付きワンメイクレース、“フォルクスワーゲン ルポ GTI カップジャパン 2003” (以下:LCJ) の開幕第1戦が、5月18日 (日)、筑波サーキット (所在地: 茨城県結城郡) にて開催されました。

フォルクスワーゲン グループ ジャパンは現在「ブランドの変革」を推進しており、LCJによってその若々しく革新的かつダイナミックなブランドをサーキットからも発信していくことを目的としております

レースは2カテゴリー制 (参加者のレース経験により初心者向けの「クラブマン」と、上級者の「エキスパート」) で実施。一周2.045kmの筑波サーキットを15ラップする約30kmのレースとして行われました。予選2位の壺林選手は1周目に昨年のニュービートルカップのシリーズチャンピオンである坂本選手をパスすると、その後坂本選手は最終ラップ迄テールトゥーナズの猛チャージを続けましたがあと一步届かず、壺林選手が記念すべきシリーズ初戦の優勝を飾りました。

また、「クラブマン」クラスは、昨年までニュービートルカップで経験を積んできた小野選手が、見事に優勝を飾りました。小野選手は総合順位でも3位に入る大躍進を遂げました。尚、ベストタイムは壺林選手の1' 12.351でした。

このレースのトピックスとして、「クラブマン」クラス参戦者のスキル向上を目的に配布される、ドライビングトレーニングソフト“グランツーリスモ ルポカップトレーニングバージョン”が挙げられます。ソニー・コンピュータエンタテインメントの子会社である、株式会社ポリフォニー・デジタルとのコラボレーションにより実現したこの特別なソフトにより、参戦者は自宅に居ながらにして、ルポGTIカップ車両の挙動等を学習しながら、筑波サーキット走行のイメージトレーニングをすることが可能となりました。今後、筑波サーキットデータに加え、他のサーキットデータの追加も検討しております。

※“グランツーリスモ”はソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

続く第2戦はツインリンクもてぎ (栃木県茂木) にて、6月22日 (日: 予選・決勝) 開催されます。

第1戦: 決勝公式結果

決勝	クラス/予選	ゼッケン	ドライバー/車名	所用時間	決勝	クラス/予選	ゼッケン	ドライバー/車名	所用時間
1	Ex-2	99	壺林貴也 CRT Lupo GTI	18'18.132	6	Ex-5	8	梅津則子 ビーズクルーレーシング Lupo	18'23.628
2	Ex-1	55	坂本祐也 Team DUO Lupo	18'18.303	7	CI-3	17	白石隆 ドク ビアンコ ルポ GTI	18'26.349
3	CI-1	11	小野勝明 オノストアCV千葉	18'21.948	8	Ex-6	7	大村亜津子 グリオスガレージ プリースルポ	18'27.451
4	CI-2	29	岩本匡史 フォルクスワーゲン成城 GTI	18'22.380	9	CI-16	27	中村剛 abr Lupo	18'35.402
5	Ex-4	88	平松宏隆 サーラレーシング	18'23.228	10	CI-4	50	島下泰久 モーターマガジンルポ GTI	18'37.982

VOLKSWAGEN *Racing*

ADVAN

Castrol

SCHMIDT RACING

VOLKSWAGEN Japan

SACHS

BELT OF

CHOROQ

Lufthansa

JTB

HEAD
twentyfour seven

NESCAFÉ

COX

NPSM
NEW PACIFIC SPORTS MARKETING INC.

VOLKSWAGEN Tokyo